

## 第6章 推進方策の検討

### 6-1 市民と行政の役割分担等の整理

#### (1) 市民参加と協働のまちづくり

本市は、「ひとにやさしい環境づくりと産業を育む元気な都市づくり」を目標に土地利用や都市施設の整備を速やかに進める必要があります。

これからの「まちづくり」においては、実際に地域で何が求められているか把握した上で「まちづくり」を考える必要があります。

また、それが何かを探る上でも、実際に地域に住んでいる人の「生活実感」に基づいた施策や各種公共施設利用者の「便益」に基づいた施策が必要です。

本市では、今後、これらを効果的に実践しながら都市計画マスタープランを実現していくため、市民・企業・行政が参加した協働のまちづくりを進めます。

#### (2) まちづくりの役割分担

全国的に住民参加の動きが進む中、本市においても、今後、まちづくり団体をはじめ様々な住民団体の組織化が考えられます。

今後、協働のまちづくりを実現していくためには、行政だけでなく、市民、企業が得意とする分野を、それぞれの役割としてまちづくりに活かすことが求められます。

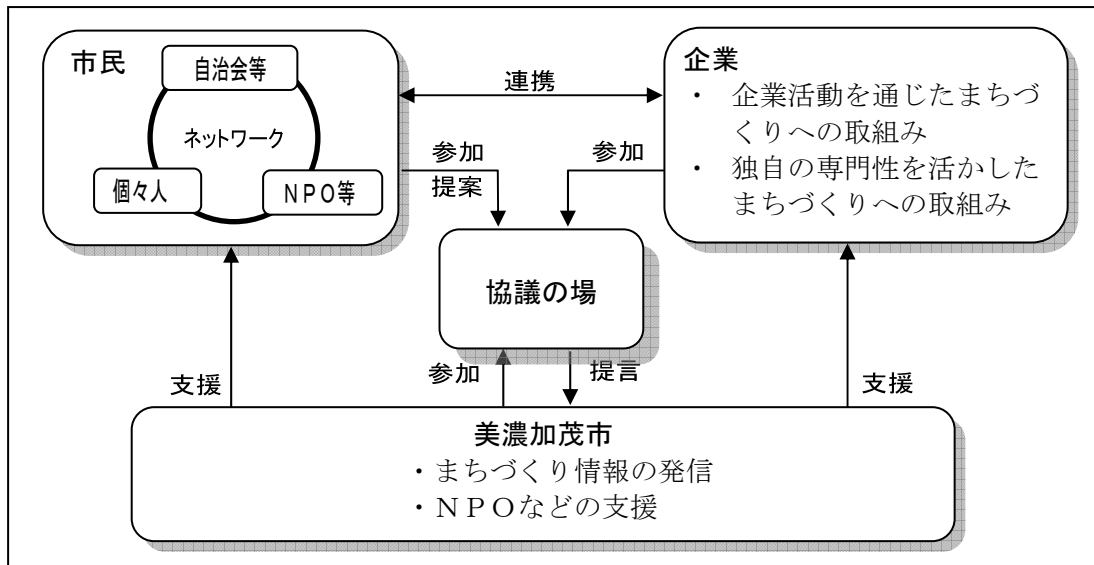
それぞれが担うべき役割は、次のように整理できます。

#### ■住民参加のシステムと役割分担

主体	役割	内容
市民	個々の取組み	・協働のまちづくりへの参加 ・土地利用の方針に沿った開発、建築への配慮 ・庭の緑化や生け垣、清掃等の周辺環境への配慮等
	地域の取組み	・自治会などによる清掃活動 ・ボランティア活動への取組み
企業	地域の企業としての取組み	・企業活動を通じたまちづくりへの取組み ・独自の専門性を活かしたまちづくりへの取組み
行政	支援体制の確立	・まちづくり情報の積極的な提供や発信 ・NPOなどの支援と活用

#### (3) 市民主体のまちづくりの手法

市民がまちづくりに主体的に参加するための仕組みとして、地権者やNPOなどが都市計画の案を提案できる都市計画提案制度の活用を支援したり、市民のまちづくり計画への参加や協働による事業実施の手法を定める「まちづくり条例」などの制定について検討を進めます。



■美濃加茂市における市民参加システムの体系

(4) 市民参加のシナリオ

市民・企業のまちづくりへの参加のシナリオを次のように整理します。

■市民参加のシナリオ

ステップ	行政	市民・企業
まちづくりの知識を深めていく段階	行政内部の方針確認 まちづくり情報の提供・発信(計画のPR)	自然環境や居住環境に対する問題意識の高まり
協働の関係をつくっていく段階	市内の総合支援体制づくり 地域・NPOの支援 個々の取り組みへの支援 住民意見を反映した各種政策	各種政策立案への参加・提案 個々の取り組み 地域組織単位の取り組み 個々の開発建築への配慮 周辺環境への配慮 企業活動を通じた取り組み 組織の活性化 ネットワーク 企業の専門性を活かした取り組み
事業段階	まちづくり事業の実施	

6-2 都市計画マスタープランの見直しについて

都市計画マスタープランは、社会経済情勢等の変化に応じて概ね10年(平成27年)を目安に見直しを行うものとします。

見直しにあたっては、市民と行政の役割分担に基づき、住民意向の反映に努めるものとします。